

# 第111回 全日本剣道演武大会



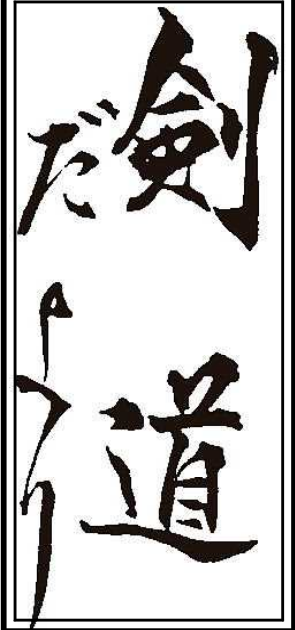
とき 平成 27年 5月 2・3・4・5日  
 ところ 武 徳 殿  
 主催 全日本剣道連盟  
 後援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会  
 京都新聞  
 主管 一般財団法人 京都府剣道連盟

「東日本大震災復興支援」  
 「とどけよう スポーツの力を東北へ！」

五月のゴールデンウィーク、武道を愛する人たちは、重ねてきた精進と、己の心と向き合う為に、新緑の京都に集う。今年で百十一回目になる。参加者は、総勢三千八百名を超える。(剣道二六〇八名、居合道

## 全日本剣道演武大会 (京都大会) に参加して 田畑 修

七七三名、杖道一四六名、薙刀一〇一名)。  
 なぜ、こうも京都に魅かれ足を運ぶのか。京都大会一日目となる五月二日は、武徳殿に於いて開会式の後、公開演武の杖道、居合道 なぎなた、



No. 173  
 三木市剣道連盟  
 広報部

6, 7月号  
 平成27(2015)年  
 8月31日(月)発行

- 全日本剣道演武大会に参加して (1面)
- 第61回三木市中学総体剣道の部 (2面)
- 剣道6段を拝受して (3面)
- 高橋洋三の剣道よもやま話 (6面)

◎本紙は三木市剣連HP (<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)でもご覧になれます。PDFでカラー印刷できます。

各種の形が行われた。剣道の演武は三日、四日、五日の三日間ある。私は三日、教士の一部に申し込んだ。三木を七時過ぎに家内と一緒に車で出発、九時過ぎに武道センターに隣接する武徳殿に着く。演武までかなり時間がありそうなので、平安神宮に参拝する。荷物を置き、武徳殿の周りを歩いてみる。  
 武徳殿は、大日本武徳会の演武場として明治三十二年に竣工。その後には武術教員養成所(のち武道専門学校)も開設された。  
 現在は京都市武道センター内の施設として隣に併設されている。昔と変わらないうたたずまいを見せている。  
 幾人もの剣道、居合道、杖道、薙刀の人々を魅了してやまない武道の聖地と言えるかも知れない。この建物が持つ雰囲気は実際に見てみるとわからないだろう。たつぷり時間があるので多くの演武を見る事ができた。  
 知り合いの人にも出合い、いろいろ話を聞くことができた。舞台上立つ時には、さあ来いという気持ち、積み重ねた修業の成果がどれだけ出せるか。「剣道を続けること、ここに上達できるような。」



多くの人々から見られている中で立ち会うのだから、厳しい目にさらされるのも事実だ。

午後二時過ぎに武道センターが開放されたので、毎年京都大会参加されている神澤会長に、稽古をお願いして、切り返して、面打ち、立合、稽古をして、三時過ぎに武徳殿で演武をした。私は西の部、二一組目、相手は、千葉県の小松崎先生だった。あつという間の一分間、引き分けだった。普段の稽古の成果を出すことを心がけたつもりが、なかなか平常心になれずうわずった剣道だったかも知れない。いい勉強になった初めての京都大会だった。  
 来年も、もつともつと稽古してぜひ演武したいと思う。  
 平成二十七年 五月

**第61回 三木市中学校総体剣道の部**  
**団体 三木中が自由が丘中に競り勝ち優勝**  
**個人男子、西川（自由）が鮮やかなメンを決める**  
**個人女子、加村（三木東中）が粘り勝ち**

平成27年度 第61回三木市中学校総合体育大会剣道の部が平成27年7月4日(土)三木中学校体育館で行われた。三木中学校から男子11名、女子1名、自由が丘中学校から男子7名、三木東中学校から女子1名、緑が丘中学校から男子1名が参加し行



宣誓する西川主将（自由）

われた。  
 まず、男子個人予選リーグ戦が行われ、日高(三木中)、松本(自由中)、西川(自由中)、越智(三木中)が1位で予選を通過した。

**団体の結果**

その後、休憩を挟んで自由中と三木中との男子団体戦が行われた。  
 先鋒は、自由中の今福と三木中の福山との対戦で3分終了間際に今福



接戦の連続、白熱した団体戦

が面を決め勝つ。次鋒は、自由中の岡本と三木中の木村との対戦でこの試合も3分終了間際に木村が面を決

本	勝	大	副	中	次	先	自由中	三木中
1	1	深見	西川	大西	岡本	今福	メ	
		×	×	メ	メ			
2	2	越智	藤井	清水	木村	福山		

め追いつく。

中堅は、自由中の大西と三木中の清水との対戦で清水が面を決め、その後副将戦・大将戦共に引き分けて三木中が勝利を収めた。



優勝杯が三木中清水主将（中央）に授与される

**個人戦の結果**

女子個人戦決勝は、三木中の岸本と三木東中の加村との対戦。加村が面を決めて勝つ。



女子個人戦で優勝した加村選手（三木東中）

男子個人決勝トーナメントでは、1回戦各リーグの2位・3位同士が対戦し、木村(三木中)、清水(三木中)、藤井(三木中)、今福(三木中)

が勝ち上がった。  
 準々決勝では、各リーグ1位と対戦し、日高・西川は順当に勝ち上がり、清水・今福はリーグ1位を破って準決勝へコマを進め、東播大会出場を決める。  
 準決勝は、日高・清水の三木中同士と西川・今福の自由中同士の対戦となり、日高・西川が勝ち上がる。決勝は、西川が開始早々面を決め、その後立て続けに面を決め、優勝を決めた。



個人戦の試合。気合十分、好試合の連続



閉会式では、小椋審判長から三木中の木村君の剣道に触れ、中学から始めたにもかかわらず、まっすぐ正しい打ちの剣道ができています。素晴らしい成長で、これからの楽しみであるのと、その他にも数名の剣道の試合について触れられ、感想を述べられて三木市の中学校の剣道に期待を寄せられていた。(報告 波田幸信)